

## 平成25年の重点施策

重点施策を達成するにあたり、これまで継続してきた事業内容を改めて精査し、その必要性・効果等について、優先順位づけによる厳しい選択を行い、最少の経費で必要な行政サービスが提供できるよう努めるとともに、住民から信頼される消防行政を築いていかなければなりません。消防大学校、消防学校、救急救命士養成所及び愛知県市町村職員研修並びに救急隊員の病院研修等の専門教育を始めとして、火災、救急救助活動のレベルアップを図る訓練を重ね、職員の資質の向上を図ります。

消防防災行政を取り巻く環境は大きく変化しており、特に大規模災害時の迅速な対応が求められています。事故・災害等から住民の生命、身体、財産を守るべき消防の責任は益々増大し、一朝有事の際の即時即応体制を、より充実強固なものにしていかなければなりません。そこで、安全で安心して住める災害に強いまちづくりと信頼される消防を目指し、平成25年は、次の項目を重点的に推進します。

- 1 消防防災体制の充実
  - ◎ 消防機関の災害対応力の強化
  - ◎ 危機管理体制の強化
  - ◎ 安全管理体制の充実強化
- 2 救急救命体制の充実
  - ◎ 医療機関との連携強化
  - ◎ 救急業務の高度化の推進
  - ◎ 一般住民による応急手当の実施促進
  - ◎ 大規模災害における救急体制の構築
  - ◎ ドクターカー運用の推進
- 3 身近な生活における安心・安全の確保
  - ◎ 住宅用火災警報器の設置促進
  - ◎ 危険物施設等の安全管理の強化
  - ◎ 放火対策の強化
- 4 地域における総合的な防災力の強化
  - ◎ 消防団、自主防災組織の充実強化
  - ◎ 企業の防災活動の促進
- 5 海部地方消防指令センター共同運用
- 6 消防救急無線のデジタル化実施設計

## 平成24年中の火災概要

平成24年中の組合管内における火災件数は27件でした。前年比で件数は24件の減と大きな減少でした。

出火原因については、放火・放火の疑い4件、たばこ3件の順でした。

また、火災により2名の負傷者が発生しました。

種 別		市 村 名		
		弥 富 市	飛 島 村	合 計
出 火 件 数		19	8	27
内 訳	建 物 火 災	7	3	10
	車 両 火 災	3	1	4
	船 舶 火 災	0	0	0
	そ の 他 の 火 災	9	4	13
負 傷 者 数		1	1	2
死 者 数		0	0	0
損 害 額 ( 千 円 )		12,652	45,922	58,574

※ 損害額は、調査中の3件を含まない数値です。

## 平成24年中の救急概要

平成24年中の救急出動件数は2,419件でした。前年比で件数は50件の増加で過去最多の出動件数となりました。平成16年以降は出動件数が毎年2,000件を超え、今後も高齢化の影響を受け、増加が予想されます。

種別については、急病、交通事故、一般負傷、労働災害の順で出動件数が多く、1日当たりにすると約6.6件の出動となり、住民の20人に1人が救急車で搬送されたこととなります。

ドクターカーの出動件数は127件でした。

種別 市村別	火	自然	水	交通	労働	運動	一般	加	自	急	そ	計
	災	災害	難	事故	災害	競技	負傷	害	損	病	他	
弥 富 市	12		3	230	101	6	213	9	15	1,152	253	1,994
飛 島 村	13		4	58	104	1	31	5	3	159	5	383
管 外				16			2			19	5	42
計	25		7	304	205	7	246	14	18	1,330	263	2,419
本署隊 (内管外)	1		2	123 (9)	74	4	73 (1)	4	4	421 (12)	40 (1)	746 (23)
分署隊 (内管外)	18			129 (3)	33	1	151 (1)	8	12	822 (4)	111 (4)	1,285 (12)
出張所隊 (内管外)	6		5	52 (4)	98	2	22	2	2	87 (3)	112	388 (7)
ドクターカー			1	12	29		11		1	73		127